

令和6年度 三股町立長田小学校 自己評価書・学校関係者評価書

【自己評価及び学校関係者評価の評価方法 4段階 A：期待以上 B：ほぼ期待通り C：やや期待を下回る D：改善を要する】

評価項目	評価指標	具体的な取組	学校評価アンケートの結果(保護者・児童・職員)										回答者別	総合評価	評価内容	学校自己評価		学校評議員(学校関係者)評価				
			・令和7年1月上旬~2月中旬実施													○成果		●課題				
			・回答数 保護者43名 児童57名 教職員11名 ・回答種 A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D そう思わない E 分からない																			
確かに学力の向上と定着	学力向上の指導の充実	1 個別最適な学び・協働的な学びの展開 ・NINO(3~6年)の研修と分析・活用 ・みまたん学習モデルの実施	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 45 A 61 A 38	B 41 B 24 B 54	C 6 C 10 C 8	D 2 D 5 D 0	E 6 E 5 E 0	A	A	○昨年度に引き続き、職員同士でICT活用に関する技能や情報を共有し、授業で活用することで、児童のICT活用力も確実に向上了している。 ○「立腰を意識して、授業の始まりと終わりに礼をする。」といった基本的な学習習慣の定着を意識して指導を重ねたことで、チャイム着席や立腰を意識して話を聞く力が定着している。 ○業務の時間を活用して、MIMを利用しての言語活動や学力向上について取り組むことで、児童の言語能力が向上し、学習内容が定着してきた。 ●学力の定着状況については、個人差がある。児童の個性を把握しながら、より適切な個に応じた指導について研鑽を深める必要がある。 ●若干名、自己評価が低い児童もいるので、称賛しながら、自己肯定感を高める指導を心がける。	A	○合理的に創意工夫をしながら児童の学力向上に努めている。 ○個人差はあるが、その児童にとって向上があればよい。 ○少人数なので、児童全員に対して、指導が行き届いている。 ○職員の児童に対する学力向上に向けた姿勢が素晴らしい。 ○児童のICT活用力が向上している点を高く評価する。学力定着の個人差をどう埋めていくかについて、今後、具体的な取組や効果に関する評価方法の確立を期待する。					
		2 学習指導の工夫改善 ・TPCの積極的活用 ICT活用の授業研究会 ・全学年、県学年、CRT等の結果分析と対策	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 49 A 54 A 46	B 36 B 36 B 54	C 9 C 8 C 0	D 0 D 2 D 0	E 6 E 2 E 0	A	B	A	A	A					
	基本的な学習習慣の定着	3 学習習慣の定着を図る指導 ・チャイム着座、立腰、家庭学習の指導 ・個人に応じた家庭学習の指導	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 53 A 46 A 38	B 32 B 40 <br;></br;>	C 13 C 12 C 15	D 0 D 2 D 0	E 2 E 0 E 0	A	A								
		4 言語活動の充実 ・MIMの実施と活用 ・読書活動の推進(年間総読書量7000冊以上)	※この項目のアンケートはなし。 MIMの実施回数:年間13回 年間総読書量:8126冊(R5:9356冊)																			
	積極的な生徒指導の心の育成	5 基本的生活習慣の指導 ・日常指導(あいさつ、返事) ・生活指導週間の重点指導	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 51 A 54 A 46	B 26 B 28 B 38	C 21 C 12 C 15	D 0 D 6 D 0	E 2 E 6 E 0	A	A	A	A	A					
		6 きまりを守る指導 ・「よい子の一日」等の指導 ・学校生活における共通実践事項の指導	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 40 A 44 A 46	B 43 B 43 B 54	C 15 C 10 C 0	D 0 D 3 D 0	E 2 E 3 E 0	B	B								
		7 特別の教科「道徳」の指導 ・道徳の時間の指導 ・具体的実践力の育成	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 47 A 46 A 31	B 36 B 44 B 69	C 9 C 3 C 0	D 2 D 7 D 0	E 6 E 7 E 2	A	A								
		8 豊かな心を育む体験活動の実施 ・校外学習・交流活動、地域人材の活用 ・校内における望ましい人間関係の醸成	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 51 A 49 A 38	B 41 B 30 B 62	C 4 C 13 C 0	D 2 D 8 D 0	E 2 E 8 E 0	A	A								
	健 康 体 育 方 向 の 推 進 と	9 体育科学習・体育活動の充実 ・体育科学習の充実(体力向上プラン) ・体力向上の取組(長距離走、縄跳び等)	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 51 A 65 A 46	B 34 B 23 B 54	C 9 C 10 C 0	D 2 D 2 D 0	E 4 E 2 E 0	A	A	A	A	A					
		10 健康的な生活習慣の定着に向けた指導 ・「早寝早起き朝ごはん」の啓発と定着 ・う歯治療に関する家庭への啓発	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 56 A 51 A 31	B 36 B 38 B 62	C 4 C 5 C 8	D 2 D 6 D 0	E 2 E 6 E 0	A	A								
家庭・地域等との連携	学校教育活動の情報発信	11 各種通信等による発信 ・学校通信、保健だより・学級通信等の充実 ・参観日、学校行事等の工夫・学校HPの充実	保護者 児童 職員	A A A	B B B	C C C	E E E	A 58 A 52 A 62	B 32 B 33 B 38	C 4 C 13 C 0	D 2 D 2 D 0	E 4 E 2 E 0	A	A	A	A	A					
	家庭・地域社会・関係機関との連携	13 地域の教育力の活用 ・地域人材、地域施設の積極的な活用 ・地域の高齢者クラブ等との交流(サロン等)	※この項目のアンケートはなし。																			
	PTA活動の活性化	14 PTA活動の活性化 ・PTA運営委員会の工夫改善 ・PTA活動・行事の工夫改善	保護者	A	B	C	E	A 51	B 40	C 5	D 2	E 2	A	A								
人材育成	職場環境の改善	15 働きやすい職場環境の構築 ・やりがいと充実感を感じる職場づくり	職員	A	B	C	E	A 46	B 54	C 0	D 0	E 0	B	B	A	A	A					
	学校経営	16 風通しのよい職員室・校長室経営 ・チームで取り組む課題解決	職員	A	B	C	E	A 69	B 31	C 0	D 0	E 0	A	A								